

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 3 月 31 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '商工会運営支援事業' and '商工業の振興'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the business support activities and funding.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (27-31) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '経営指導の回数', '会員事業所数', and '講習会参加者数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input costs (事業費) for 27-31 years. Includes sub-categories like '国庫支出金', '事業費計(A)', and '人件費'.

Table for '事業費の内訳' (Breakdown of business costs) comparing 28年度実績 (Actual 28) and 29年度事業費予算 (Budget 29). Includes '19 負担金補助及び交付金'.

(4) 当該年度の実施内容

Table for '当該年度の実施内容' (Implementation content for the current year) for 29, 30, and 31 years. Includes a list of activities like '主要事業', '市長マニフェスト', etc.

事務事業名	商工会運営支援事業	事務事業No.	50201000525	所属課	商工観光課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
桜川市商工会は、平成21年5月に岩瀬商工会、大和商工会、真壁商工会が合併して設立された。それに伴い、各商工会に支出していた補助金を1本化し、現在の形での助成となった。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
商工会から、補助金が平成23年度から減額され、運営が厳しい状況にあるので増額の要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	商工観光課・商工会ともに近年人員が減少し、これまでの事業をそのまま継続することが厳しい状況になりつつある。特に商工会において人員の高齢化が進んで経験ある職員が少なくなっている上、正規職員の退職に対する補充を臨時職員で補っている状況でありながらなんとか収支を保っている状況であり、数年後の状況が懸念される。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 商工会の活動により、市内の商工業者が経営指導等さまざまな支援を受けることは、地域商工業者の経営基盤の強化や、商工業の振興に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 商工会の活動は商工業の振興において重要であり、営利を目的とせず、特定の個人や団体の利益のために活動しないという原則があるため、市が運営助成を行うことは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 商工業者のニーズに合った支援を行うため、市と商工会との連携の強化や講習会の見直し等により成果を向上させる余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業を利用している商工業者が必要な支援を受けられなくなる可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 補助金支払いと指導検査に費やす時間であり削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 商工会には商工業者であれば加入することができるため、受益機会は公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	経営指導や講習会の内容見直しにより市内事業者へより効果的な支援ができる余地はある。市としては、指導検査や補助金の実績報告を通して効果が更に向上するよう、より踏み込んだ助言・指導を行うことができる。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
商工会の人員が減少し事業を継続することが厳しい状況になりつつあり、数年後の状況が懸念される。補助金の適正な執行を管理する。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>